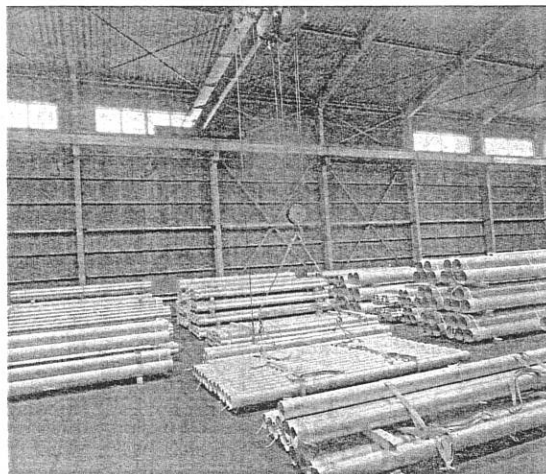


沼尻Gでシナジー発揮

流通加工など 多能工の強み生かす



10トに対応の天井クレーン

天井クレーン倉庫を活用

【埼玉】ウチダフレイト(阿部知久社長、埼玉県白岡市)は1947年設立で、今年75周年を迎えた老舗企業だが、2017年には事業承継の問題から沼尻産業(沼尻年正社長、茨城県つくば市)の傘下に入り、グループ企業としてシナジーを発揮している。得意としている天井クレーン倉庫の活用や、流通加工など多能工の強みを生かし、沼尻グループの目標「25年に売上高100億円」の達成に貢献する。

(谷本博)

ウチダフレイト

ウチダフレイトは東京都墨田区で創業。2代目社長時代の1972年に現在の場所に本社を移転、90年に当時の内田商事から現社名に変更した。3代目社長と沼尻社長が親交があったことから、「従業員全員をそのまま雇用する」という条件でグループ入り。延べ床面積1万2千平方メートルを保有する倉庫業者で、トラックも抱えている。

当社の課題は、強みを持つクレーン倉庫の機能拡大だ。ここ最近では7・5トに満たない建設資材などの扱

いが増えてきていることもあり、1千平方メートルの倉庫に5トまで対応可能な天井クレーンを導入する方針だ。また、EC(電子商取引)の拡大とともに少量多品種の需要が高まっていることから、得意とする細かい作業が必要な流通加工分野を強化するなど、多能工の取り組みを推進する。

同社はベテランの女性パートタイマーなどを戦力に、従業員45人で、売上高は4億円強の規模。沼尻グループとしての25年売上高目標では、10分の1となる10億円達成が課せられる。

阿部社長は「この5年間の経験を生かし、グループ力としての強みを発揮することで、茨城と埼玉の首都圏での面として強固な仕組みが構築されている。今後、ウチダフレイトとして埼玉県内の同業者をM&A(合併・買収)により取得する構

想もあり、将来展望を踏まえた戦略を遂行することで目標達成は可能」と語る。